

2015年第1四半期決算説明資料

株式会社ブリヂストン

2015年5月11日

1. 2015年第1四半期業績 P. 3
2. 2015年上期業績見通し P. 8

1. 2015年第1四半期業績

2015年第1四半期 事業環境概要

◆ タイヤ需要

2015年第1四半期 新車用タイヤ需要

	乗用車用 ラジアル (対前年比)	トラック・バス用 ラジアル (対前年比)
日本	93%	99%
北米	103%	120%
欧州	108%	108%

2015年第1四半期 補修用タイヤ需要

	乗用車用 ラジアル (対前年比)	トラック・バス用 ラジアル (対前年比)
日本	83%	75%
北米	93%	100%
欧州	102%	99%

※需要数値は当社推定。

◆ 為替

	2014年				2015年
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
USドル	103	102	104	114	119
ユーロ	141	140	138	142	134

◆ 原材料

相場動向（平均価格）推移

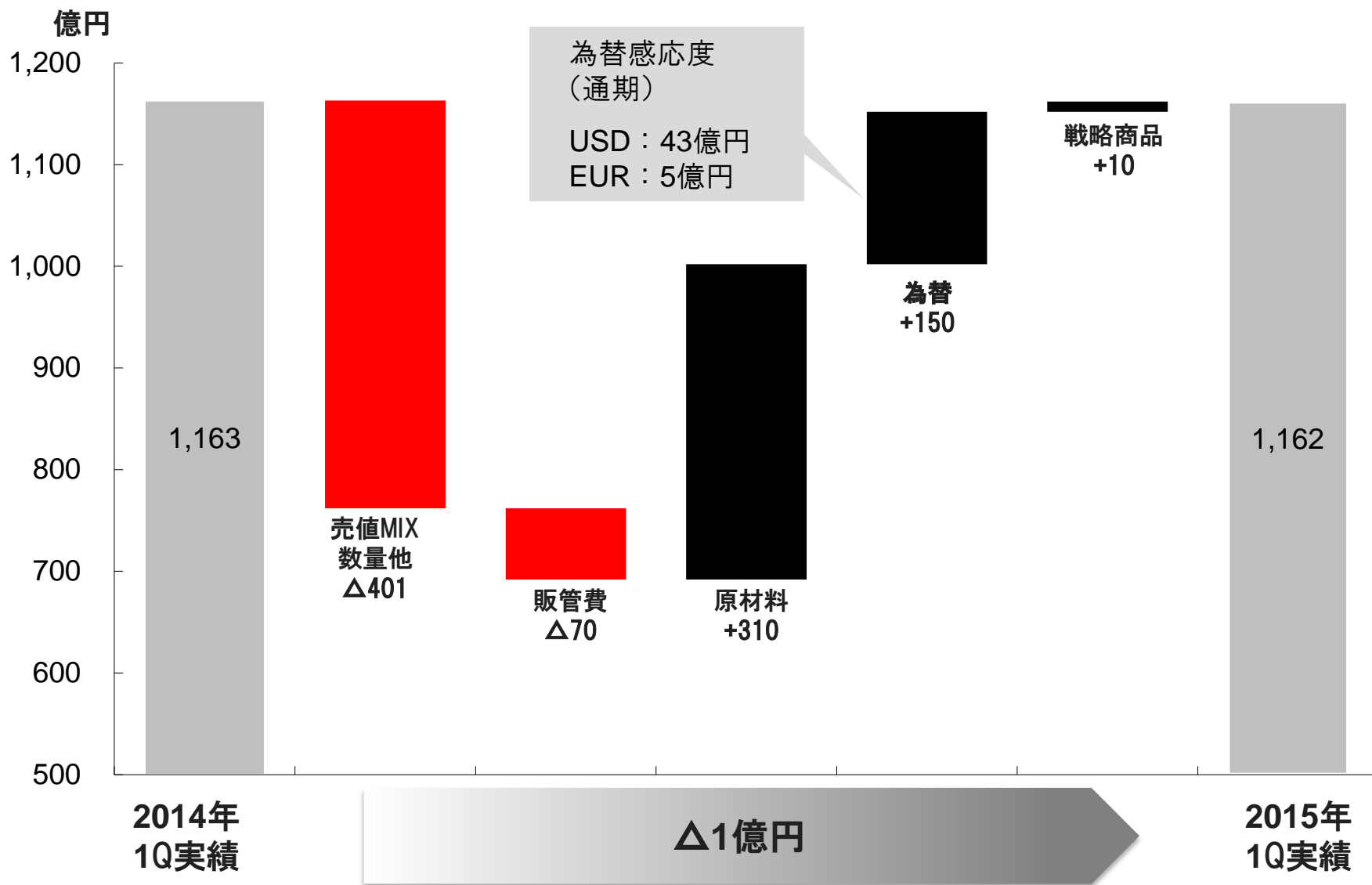
	2014年				2015年
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
天然ゴム <TSR20> [*] (¢/kg)	198	172	162	148	142
天然ゴム <RSS#3> [*] (¢/kg)	225	211	183	159	172
原油 <WTI> (\$/bbl)	98	103	97	72	48

*source : Singapore Commodity Exchange Limited 期近市況価格参照

2015年第1四半期 連結業績概要

	USドル	103円	119円	+16円	115円	115円
(単位:億円)	ユーロ	141円	134円	△7円	136円	136円
	2014年 第1四半期 実績	2015年 第1四半期 実績	増減(%)	(参考 '15/2/17発表)		
				2015年 上期予想	2015年 通期予想	
売上高	8,636	8,936	+3	18,800	39,800	
タイヤ部門	7,270	7,517	+3	15,600	33,400	
多角化部門	1,402	1,471	+5	3,200	6,600	
営業利益	1,163 (利益率) 13.5%	1,162 (利益率) 13.0%	— (利益率) △0.5%	2,320 (利益率) 12.3%	5,190 (利益率) 13.0%	
タイヤ部門	1,058	1,094	+3	2,080	4,640	
多角化部門	104	68	△35	230	540	
経常利益	1,138	1,157	+2	2,260	5,010	
純利益	719	715	△1	1,380	3,190	

2015年第1四半期 営業利益増減要因（前年比）



2015年第1四半期 所在地別セグメント業績概要

(単位:億円)

		2014年 第1四半期 実績	2015年 第1四半期 実績	増減(%)
	日本	3,088	2,839	△8
	米州	3,956	4,508	+14
	欧州	1,120	1,043	△7
	その他	2,009	2,120	+6
	連結 売上高	8,636	8,936	+3
	日本	517	449	△13
	米州	357	438	+22
	欧州	62	52	△16
	その他	199	207	+4
	連結 営業利益	1,163	1,162	—

2. 2015年上期 業績見通し

2015年上期 事業環境見通し

◆ タイヤ需要

2015年上期 新車用タイヤ需要

	乗用車用 ラジアル (対前年比)	トラック・バス用 ラジアル (対前年比)
日本	92%	106%
北米	103%	110%
欧州	104%	106%

2015年上期 補修用タイヤ需要

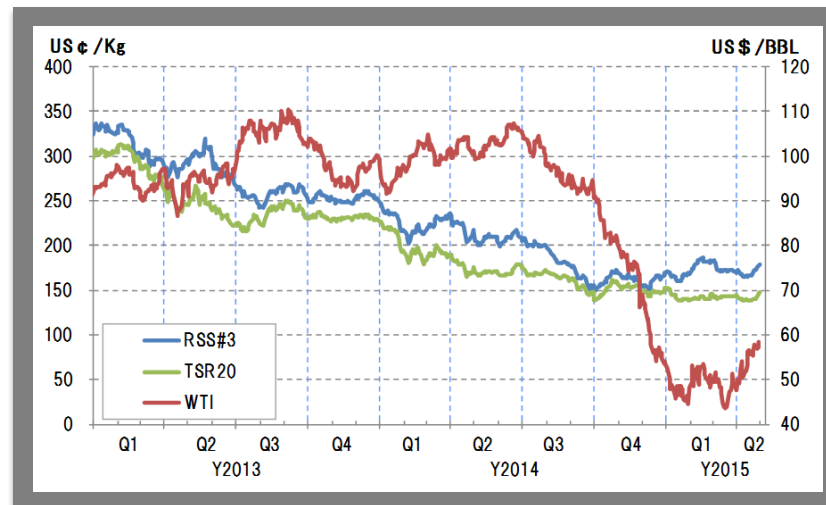
	乗用車用 ラジアル (対前年比)	トラック・バス用 ラジアル (対前年比)
日本	92%	91%
北米	94%	104%
欧州	99%	100%

※需要数値は当社推定。

◆ 為替

	2014年			2015年	(参考) 2/17発表 '15年上期 予想
	上期	下期	通期	上期	
USドル	102	109	106	119	115
ユーロ	140	140	140	130	136

◆ 原材料



*source : Singapore Commodity Exchange Limited 期近市況価格参照

2015年第1四半期業績ハイライト

	2015年第1四半期実績 (計画='15/2/17発表)
販売数量	<ul style="list-style-type: none">• 一般タイヤ 日本の販売減を海外市場の伸長でカバーし、前年並• 鉱山用タイヤ 鉱山の在庫調整あり、対前年減も計画並 ⇒ 一部市場で計画未達もグローバルではほぼ前年並
売値・原材料	<ul style="list-style-type: none">• 対前年 原材料価格低下影響>売値低下影響
販管費	<ul style="list-style-type: none">• 販売力向上に向けて戦略的に使用→対前年費用増
連結業績	<ul style="list-style-type: none">• 売上高 為替円安もあり対前年増収• 営業利益 原材料価格安で粗利良化も販管費増で前年並

一部市場で不安定な状況継続するが、計画達成を目指す

上期見通し	<ul style="list-style-type: none">• 上期計画('15/2/17発表)の修正なし 売上高18,800億円 営業利益2,320億円
-------	--



免責条項

本資料に掲載されている業績予想、計画、戦略目標などのうち歴史的事実でないものは、作成時点で入手可能な情報からの判断に基づき作成したものであり、リスクや不確実性を含んでいます。そのため、今後の当社を取り巻く経済環境・事業環境などの変化により、実際の業績が掲載されている業績予想、計画、戦略、目標などと大きく異なる可能性があります。